

日本を代表するがんの専門家が日本橋に大集結 ジャパンキャンサーフォーラム

家族を看取ること 家族の心のケア

在宅で看取るために家族にできることと家族の心のケア

がんで苦悩するのは患者さん本人だけではありません。大切なご家族の旅立ちをどう支えていけばいいのでしょうか。

そして、ご家族はこの避けられない別れをどのように受け入れていけるのでしょうか。みなさんと一緒に考えてみたいと思います。

*このプログラムは公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団の助成を受けています。



講演者

佐々木 淳 (ささき じゅん)

医療法人社団悠翔会 理事長

1973年京都市生まれ。手塚治虫の「ブラックジャック」に感化され中学2年で外科医を志すが、筑波大学で現代医学の現実（一人では手術はできない！）を知る。総合診療医に志望変更し、卒業と同時に三井記念病院の内科研修医に。5年目に東京大学大学院に入学するも基礎研究が肌に合わず3ヶ月で休学、地域に飛び出す。さまざまな形態の医療を経験する中、新宿で「在宅医療」の師と出会い、医療に対する価値観が大きく変わる。2006年に自ら在宅医療クリニックを開業。現在、常勤医24人を擁する在宅診療チームのリーダー。医療法人社団悠翔会理事長・診療部長。好きなものは夏と海と犬。嫌いなものは注射（されること）。

SHIN 時代の幕開け

新

真

信

轟 浩美 (とどろき ひろみ)

スキルズ胃がん患者 家族会 認定 NPO 法人希望の会 理事長

浪瀬 耕造 (なみせ こうぞう)

CNJ 認定がん情報ナビゲーター (CIN)

2017年 **8月19日(土)** 12:30-13:30

コンGRESクエア日本橋

3階 第4会場 (ホールD)

東京メトロ「日本橋駅」直結、東京駅日本橋口から徒歩5分

最新情報はWEBサイトをご確認ください

<http://www.cancernet.jp/jcf/2017/programs/program181>



ジャパンキャンサーフォーラム

検索

